

# 11月あかぐみだより

～ かいたり、つくったり楽しいね ～

就学前教育カリキュラム<知・徳・体>

知…言語、思考、創造

徳…人と関わる力、規範意識、生命の尊重

体…運動、基本的な生活習慣、健康・安全、食育

※吹き出しを知・徳・体の色に合わせています

運動会を終え、友達と一緒に遊びを楽しむ姿が増えてきました。また、体をたくさん動かして、体の使い方が上手くなつたことで肩をしっかりと動かせるようになり、腕⇒手首の動きも安定し、手先の器用さにもつながっています😊

感じたことを絵にかいたり、素材の感触を味わったりして、かいたりつくったりすることを楽しんできました。また、つくった作品を友達に紹介したり、友達の作品を見て刺激をうけたりしています。

幼稚園教育要領の指針に『生きる力の基礎を育むため（中略）資質・能力を一体的に育むように努めるものとする。』とされ、幼児期に育みたい資質・能力が育まれている具体的な姿として『**幼児期の終わりまでに育つて欲しい姿**』が示されています。この姿は、達成目標ではなく、18歳までの成長の過程で育まれるものです。子どもたちの育ちを図にしてみました。



～温かいまなざし～  
見守る 共感する  
励ます など

人の育ちは木にたとえられます。幼児期は根っこ部分。しっかり育まれた根っこは、葉を茂らせ、花や実をつけます！



幼児期の終わりまでに育つて欲しい姿

健康な心と体

自然との関わり  
生命尊重

道徳性・規範意識の芽生え

協同性

思考力の芽生え

自立心

豊かな感性と表現

社会生活との関わり

数量や図形、標識や  
文字などへの関心・感覚

言葉による伝えあい



オノマトペは、体感しながら知っていくことが大切です。遊びや生活の中で、いろいろな言葉を獲得しています。



遊びを通して『知・徳・体』をバランスよく育んでいくことで、『生きる力の基礎』が培われていきます。子どもたちが、遊びの中で様々なことを経験できるように保育や環境を考えています。

『知・徳・体』と『**幼児期の終わりまでに育つて欲しい姿**』を参考に、子どもたちの遊ぶ姿を、どの育ちにつながるかな？などの視点で見てみてください！子どもたちは成長しています！

